

平成25年9月6日

松山河川国道事務所調査第一課

重信川・石手川出水状況（速報版）

～ 重信川「出合水位観測所」で観測史上三番目の水位を観測 ～

平成25年9月4日の秋雨前線による豪雨による重信川水系に関する気象・出水の概要、事務所・災害支援の対応についてお知らせします。



重信橋下流左岸より（9月4日11時15分頃）

詳細については当事務所HP（<http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/>）をご覧ください。

問い合わせ先：四国地方整備局松山河川国道事務所調査第一課

◎ 副所長（河川）：関谷 浩二（内線：204）

調査第一課長：岩本 康宏（内線：351）

代表 089-972-0034

直通 089-972-0612

FAX 089-972-6612

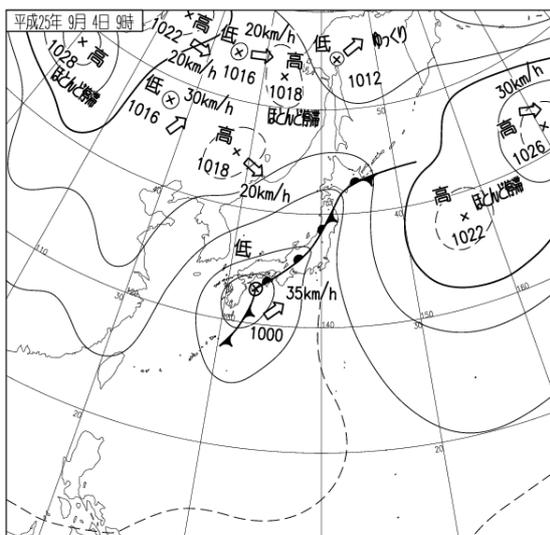
◎：主な問い合わせ先

□ 気象概要

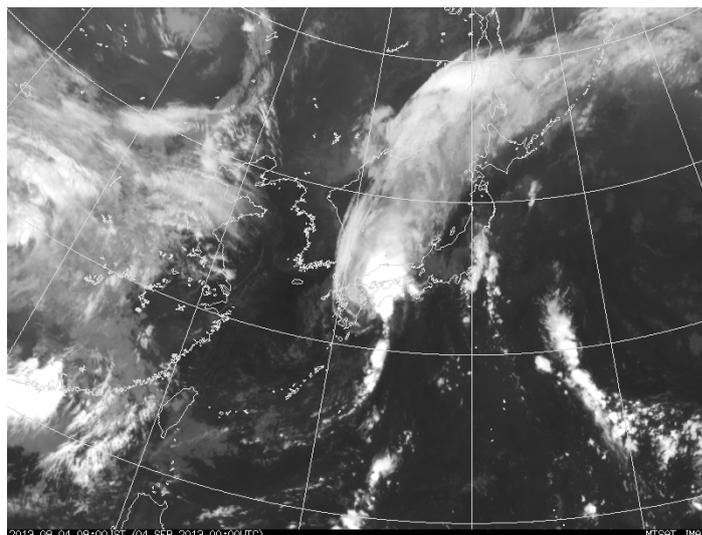
平成25年9月4日、愛媛県では、台風17号から変わった低気圧と停滞する前線に向かって南から湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となった。このため4日未明から夕方にかけて、局地的に雷を伴った激しい雨が降り大雨となった。

■ 天気図・衛星画像

9月4日9時



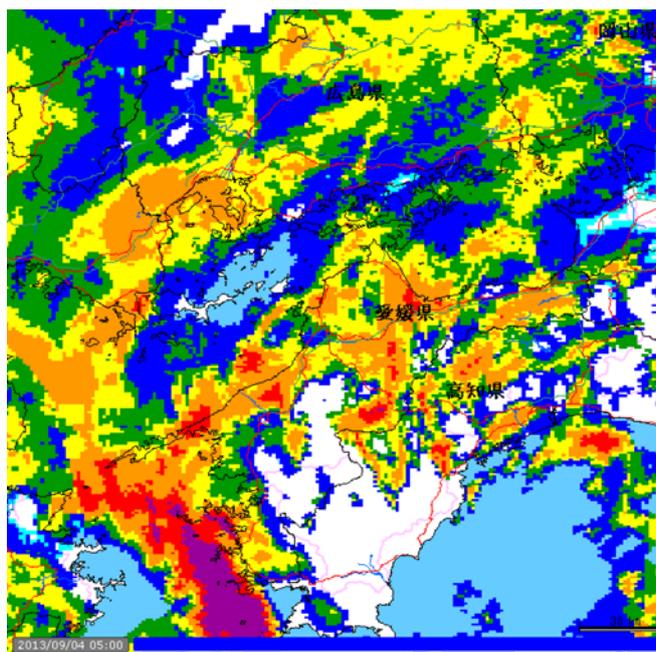
※気象庁HPより



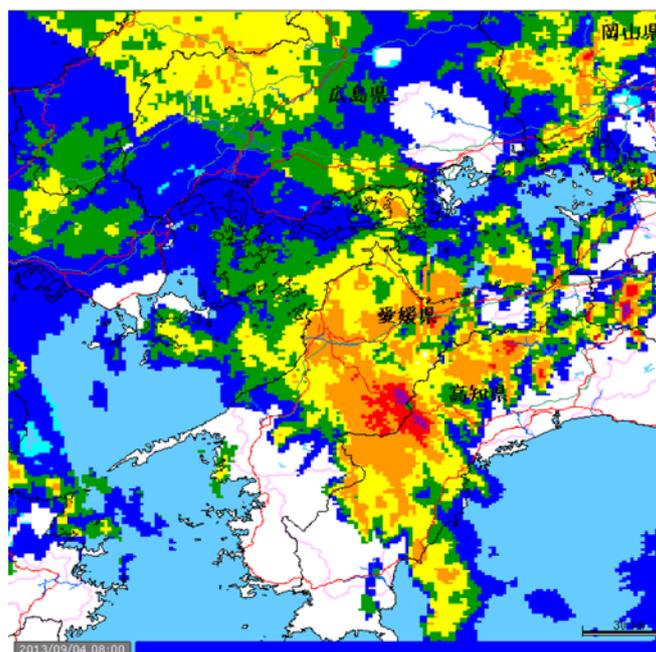
※気象庁HPより

■ レーダー雨量

9月4日5時



9月4日8時



□ 出水概要

■ 重信川

台風17号から変わった低気圧と停滞する前線による大雨で、雨量の最も多いところで、時間雨量51mm（4日9時）、降り始めの3日8時から4日20時までの雨量は238mmを観測した。

これにより、出合水位観測所では、4日3時50分に水防団待機水位（2.00m）、8時20分にはん濫注意水位（3.00m）を超えてさらに上昇し、10時30分に観測史上三番目（昭和31年～平成25年の58年間）となる4.56mを観測した。

その後、水位は下降に転じ、4日16時10分にはん濫注意水位、5日6時50分に水防団待機水位を下回った。

【過去の水位記録】

順位	年月日	水位(m)
1	H13.6.20	4.95
2	H10.10.18	4.63
<u>3</u>	<u>H25.9.4</u>	<u>4.56</u>
4	H11.9.15	4.37
5	H23.9.21	4.22
6	H16.10.20	4.13
7	H8.7.19	4.02
8	H22.7.12	3.95
9	S45.8.21	3.88
10	H5.9.4	3.80

【出合水位観測所の水位】

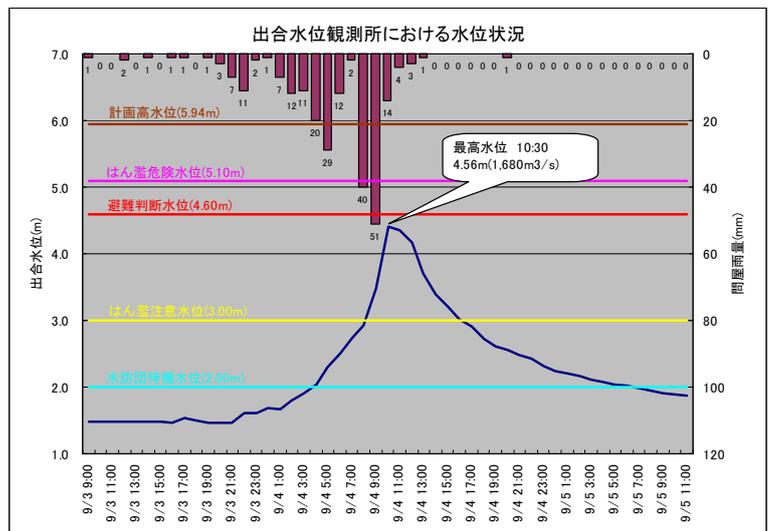


写真 出合橋上流左岸より（9月4日 11時50分頃）

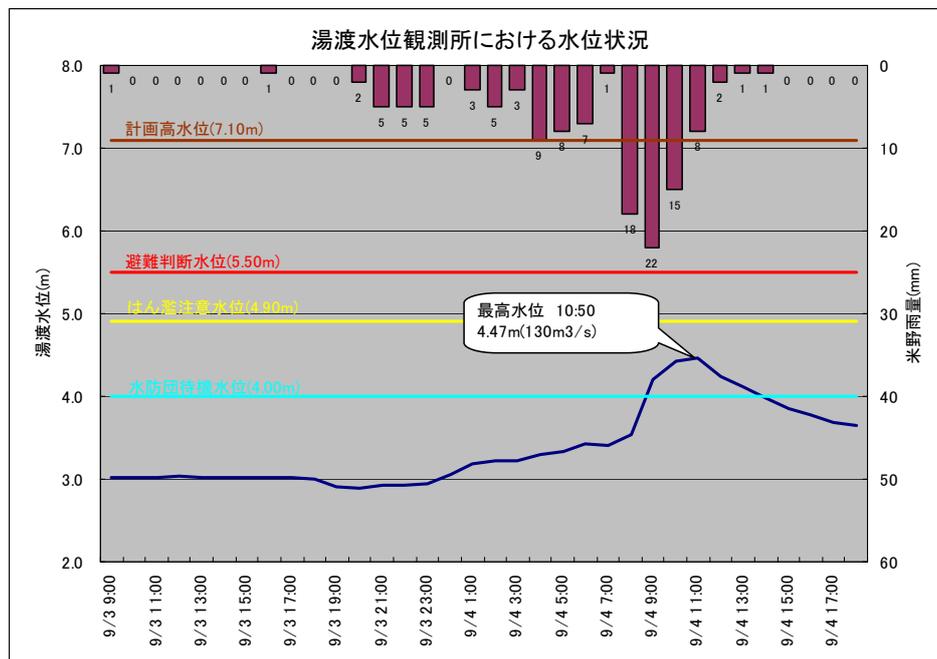
■ 石手川

台風17号から変わった低気圧と停滞する前線による大雨で、雨量の最も多いところで、時間雨量22mm（4日10時）、降り始めの3日8時から4日14時までの雨量は122mmを観測した。

これにより、湯渡水位観測所では、4日8時30分に水防団待機水位（4.00m）を超えてさらに上昇し、10時50分に4.47mを観測した。

その後、水位は下降に転じ、4日14:00に水防団待機水位を下回った。

【湯渡水位観測所の水位】



■ 石手川ダム

台風17号と前線による大雨で、流域平均雨量は、時間雨量の最大20mm、降り始めの3日8時から4日14時までの累加雨量は114mmを観測した。

これにより、石手川ダムは4日7時00分に洪水に備えるための貯水位維持操作として、ゲート放流を開始した。

ダムへの流入量の最大は、9時40分頃に86m³/s、放流量の最大は85m³/sとし、流入量と同量の放流を実施した。

【石手川ダムの状況】

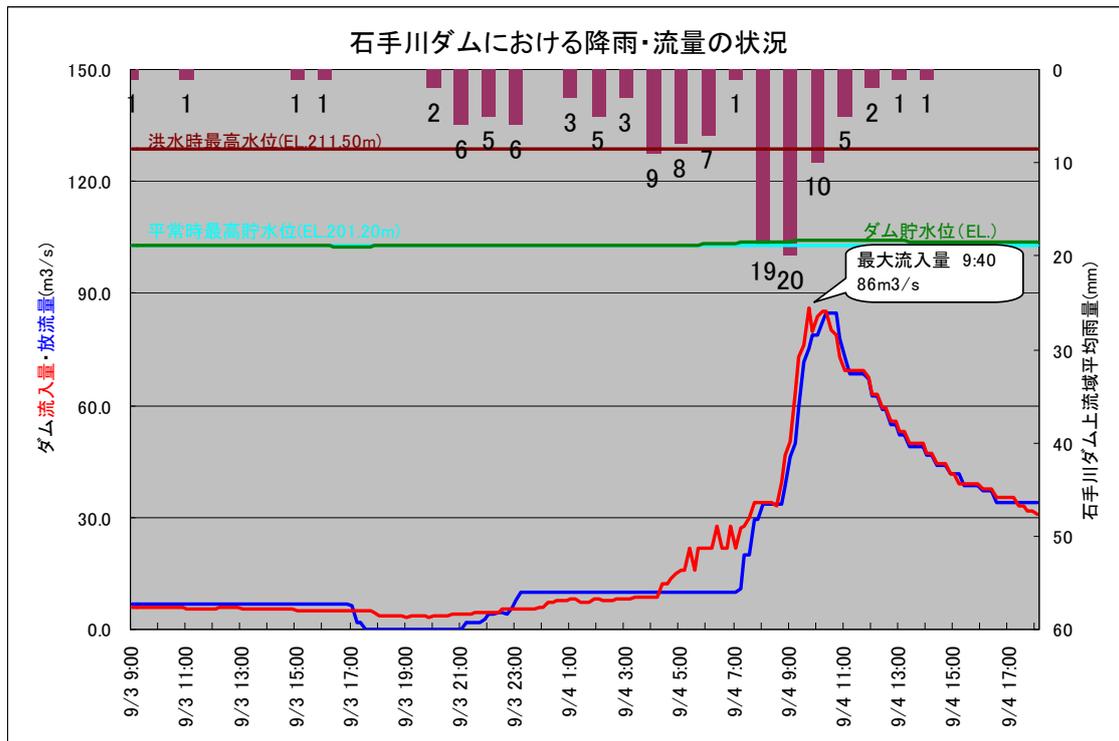


写真 石手川ダム下流左岸より（9月4日 14時00分頃）

□ 松山河川国道事務所の対応に関する時系列

日付	時刻	出水体制情報・発信情報
9月4日	7:20	支部体制発令（注意体制）
	7:30	重信川水防警報第1号（準備）
	8:20	支部体制移行（警戒体制）
	8:30	重信川水防警報第2号（出動）
	8:50	重信川洪水予報第1号（はん濫注意情報）
	9:20	重信川水防警報第3号（水位等情報）
	10:30	重信川水防警報第4号（水位等情報）
	11:10	重信川水防警報第5号（水位等情報）
	12:20	重信川水防警報第6号（水位等情報）
	13:20	重信川水防警報第7号（水位等情報）
	14:20	重信川水防警報第8号（水位等情報）
	15:20	重信川水防警報第9号（水位等情報）
	16:20	重信川水防警報第10号（解除）
	〃	支部体制解除
16:40	重信川洪水予報第2号（はん濫注意情報解除）	

□ 被害状況と災害支援対応

■ 河川巡視による被害状況の把握

松山河川国道事務所では、警戒体制に入り速やかに、現地状況把握などのため、河川巡視を開始した。また、翌日の5日にも全川で徒歩による巡視を実施したが、現時点では、堤防・護岸などに被災は確認されていない。

■ 内水被害及び内水排除のための排水ポンプ車支援

砥部町からの要請を受け、床上浸水1戸、床下浸水4戸が発生していた砥部町高尾田地区に松山河川国道事務所から、排水ポンプ車を派遣し、内水排除を行った。

出動場所	機械規格 台数	排水時間	開始時間 終了時間	概算排出量	水位低下高	作業 人員
砥部町高尾田 （砥部川の重 信川合流点）	30m ³ /min 1台	2時間50分	11時30分 14時20分	約5,000m ³	約60cm	6人

～この情報は速報であり、数値等は今後変わることがあります～



写真 消防ポンプと合わせて排水する国交省排水ポンプ車



写真 排水ポンプ車による排水状況 (堤外)



写真 排水ポンプ車による排水状況 (堤内)